

医薬品卸売業

山形薬業株式会社

代表取締役社長 山形良一

(郵便番号 060)

本社 札幌市中央区北10条西24丁目3番地

電話 大代表 (631) 3111番

支店営業所 札幌・小樽・岩見沢・苫小牧・室蘭・滝川・帯広・釧路

自律神経調整剤

ハイゼット錠

オリザノール錠

Hi-Z tablets

大塚製薬株式会社 札幌支店

レコード  
総卸

■東芝 ■コロムビア ■ピクター ■キング ■ティチク ■ボリドール ■クラウン  
■ミノルフォン ■CBSソニー ■フォノグラム ■東宝 ■ワーナーバイオニア  
■キャニオン ■アボロン ■エレック

創業

音の岩泉

大正15年

札幌南1西12電車通り北向(駐車場有) T241-7001

●ご連絡次第参上、道央は月2、3回伺っております。

演奏された珈琲

コーヒーサービス券

¥100

コーヒーハウス

ロマンツァー

3F クラシックコーナー T231-3743

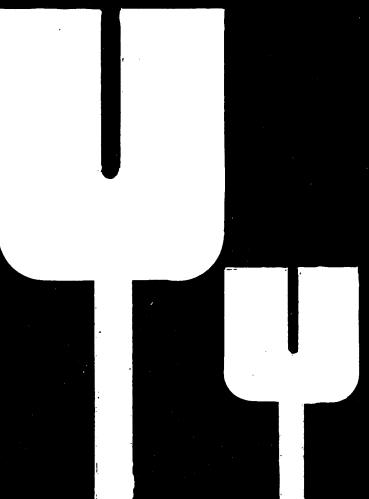
コーヒー・クラシック音楽

ウイーン

狸小路7丁目 TEL(251) 5912

# 第2回 定期演奏会

札幌医科大学室内楽合奏団



1973.7.6.(金)

北星学園ホール

## ごあいさつ

札幌医科大学室内楽合奏団団長  
札幌医科大学癌研内科助教授

福田 守道

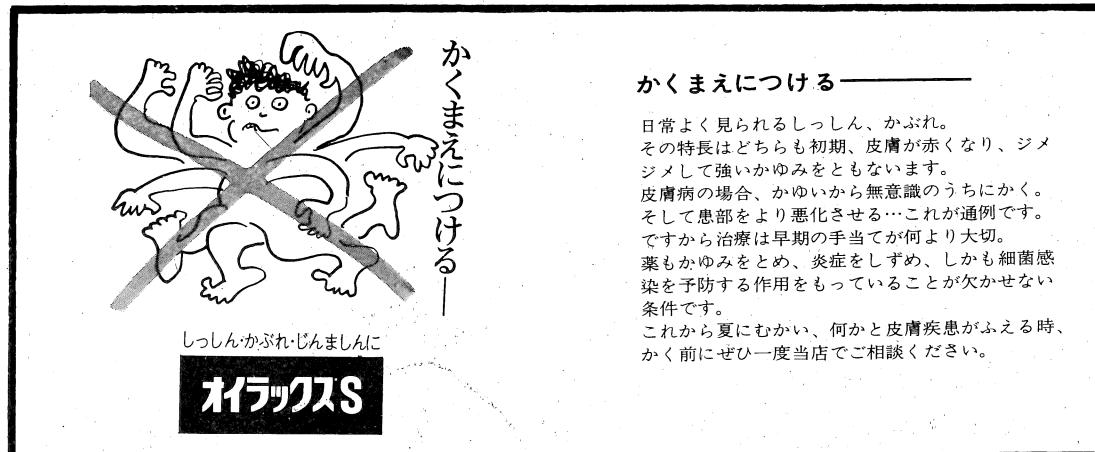
このたび札幌医大室内合奏団が第2回の独立演奏会を開くことになりました。前回の演奏会以来、いろいろの悪条件にもめげずとに角練習を続けて来ることが出来ましたのは諸方面の皆様の暖かい御支援の賜ですが、同時に音楽が好きでたまらない団員の飽くことのない情熱に支えられて來ることも事実でございます。多忙な講義、実習、試験などでともすれば途端に勝ちになる練習をどうにか維持して來た現在、団員の数も増え、はりある練習を持つことが出来るようになって参りました。

しかしながらただ好きであるから集って演奏すると言うことのみでは決して長続きするものではありません。個々の能力の総てを注ぎ込んで良き指導者のもとに精進研鑽を重ねるとともに、演奏の成果について厳しい批判を載ぐことも私共の若い合奏団の発展に欠くことの出来ないことと存じます。

母体となる私共の大学の規模から言って大編成のオーケストラを組織することは望むべくも有りませんが、曲目に示される様な小編成の室内楽活動は、見方によつては実は最もシビアな演奏を要求されるものであり、その意味では大変やり甲斐のある仕事とも考えられます。

勿論演奏自体はレコードで聴かれるような名演奏とはやや程遠い感を抱かれるかと思いますが、団員一同の音楽にかける情熱を感じ取つて頂くことが出来れば喜びでございます。

この演奏会の実現のために御援助、御協力、御助言を頂きました各方面の方々にこの機会に御礼申上げますと同時に、多忙な時間を割いて贊助出演を承諾下さいました方々にも厚く御礼申上げ、なお今後本合奏団の発展のため一層の御支援を賜ります様御願い申上げる次第でございます。



## 「医大室内楽合奏団」について

札幌医科大学室内楽合奏団総務 佐々木 治 (学部2年)

クラシック音楽というものは、皆さんも御承知の様に大変難しいものと言われています。特に弦楽器をやる人は、エレキやフォークギターをやるのとちがい、かなりの下積みを要求され、それでもなお不断の努力が必要です。しかしそれだけの苦しさがあるからこそ、ある程度まで自分で弾けるようになると後は面白くでしょうねという状態に陥ります。この感情は古今東西を問わずに同じものだと思えます。

現在我々が古典音楽を医大で楽しんでいるように、16~18世紀のヨーロッパの医科大学の学生も同じように、その頃の現代音楽、すなわち今の古典音楽を楽しんでいたかも知れないなどと考えると樂しくなります。やはり、いつの時代にも音楽好きはいるものだと思って当時の学生と奇妙な連帯感を持ったりしてしまいます。

もっとも、我々は学校の掲示板に休講の知らせでもあろうものなら、小踊りして喜び、茶店に行ってレコードを聴いたり、楽器の練習をしたりするわけですが、ものの本によると当時のヨーロッパの学生諸君は、大学に対して、無断で休講するな、とか休講の場合は他の教授が代講せよ、とかの要求をしていましたそうです。現在の学生と当時の学生とのちょっとした(?)ちがいがこちらへんに表われているように思えます。

話しが少々脱線しましたが、我々は学問と音楽の両立を探求し、その実現に努力しています。そしてもし将来我等が医大の校歌、寮歌等ができれば定期演奏会の他にそれらの演奏や、新入生歓迎の演奏もやって行きたいと夢をふくらませています。

北海道を代表する  
医科・理科器械の  
総合コンサルタント

御買上の栄を賜りたくお待ち申し上げます。

株式会社 竹山

本社 郵便番号 065 札幌市東区北6条東2丁目3 電話代表 (711) 0121番  
(札幌総合卸センター)

支店 郵便番号 070 旭川市7条通6丁目左6号 電話代表 (22) 8535番

支店 郵便番号 040 函館市東雲町18の16 電話 (23) 3504番

# プログラム

## 1. J・パッヘルベル；弦楽と通奏低音のための「カノン」

ヨハン・パッヘルベル(1653-1736)は、バッハより一世代先輩のドイツのオルガン奏者で作曲家である。とくに当時は、中部および南部ドイツにおいて最高の音楽家に数えられていた。

作風においては、イタリアから伝わってきた南ドイツの様式と中部ドイツの様式とを融合したものといえるが、独特な和声法によって柔軟さと暖みをおき、旋律のカンタービレ性を大切にしている。しかも精緻な対位法的技をみせてもらっている。

この「カノン」は、原曲はオルガンのための作品だったが、現在では弦のアンサンブルで演奏されることが多い。三部のバイオリンにより奏されるカノンは美しい旋律の綾をなし、バロック音楽としてよりも映画音楽「涙のカノン」として広く知られている。

## 2. H・パーセル；組曲「フェアリー・クイーン」

イギリス・バロック音楽の代表的作曲家であるヘンリー・パーセル(1659-1695)は、青年期より王室楽団の作曲家と大寺院のオルガン奏者を兼任し、劇音楽に優れた作品を残している。パーセルの業績は、内乱で妨げられたおくれていたイギリス音楽に、イタリア風の精緻と美と、フランス風の優雅さと快活さを同化して、独自の風格ある様式をうちたて、イギリス・バロック音楽をみごとに開花させたことにあった。

今夜演奏される組曲「フェアリー・クイーン」の原曲は、1692年、ロンドンのドーセット・ガーデン劇場で初演され、その後この初稿は樂界から紛失してしまい、約200年間、四代の人の手を経て、王立音楽院に埋もれているのを、1901年J・S・シェドロックにより発見され、1903年、彼の指導のもとにパーセル協会から出版された。

- 1 プレリュード
- 2 ロンド
- 3 ジーグ
- 4 ホーンパイプ
- 5 妖精のための踊り

音楽のまごころをおとどけする

## バロック音楽は 心のふれあいのハーモニーです。



### かさら楽器店

本店 札幌市中央区南1西4 T(251)-3884(221)-5336  
三条店 札幌市中央区南3西5 T(251)-5540

## 3. シュターミツ；木管四重奏曲変ホ長調

作曲者シュターミツはモーツアルトとほぼ同時代の人であるが、モーツアルト程、その業績が詳しく分からぬので演奏者の横顔を一言ずつ。まずオーボエは北大医学部大学院の山下氏。彼の楽器はローレルと言って1本40万円近くする。次はファゴットの神部君。彼は北大オケの4年目で大学院に進むかどうか迷っている。クラリネットは医大進学1年の池田君。楽器は安いが前途有望なテクニシャン。最後のホルンの佐々木氏は学部2年で、北大オケの主席奏者の経験もあり、腕の方は抜群。以上の4人が奏でる音楽的対話はいかに。

## 4. A・ビバルディ；ギター協奏曲二長調

A・ビバルディは17世紀から18世紀はじめにかけて活躍した作曲家で、この原曲は「リュートと2つのバイオリン、チェロ、通奏低音のためのコンチェルト」である。この曲はいろいろな人によって編曲され、人によって多少リズムも異なっている場合がある。技術的にそうむずかしい曲ではないので音楽好きな仲間を集めて合奏を楽しんでみて下さい。今回の演奏には阿部保夫さんの編曲した楽譜を用いています。

## 5. A・ジェミニニアーニ；合奏協奏曲 二短調 作品3の4

ジェミニニアーニ(1687?-1762)は後期バロックを代表する作曲家の一人で、イタリアに生まれ、コレルリやスカルラッティに学び、後年イギリスにわたり、バイオリンの名手、優れた作曲家、音楽理論家としてヘンデルにも劣らぬ名声をはくしたといわれる。

作風は師のコレルリの影響をうけているが、コレルリに比較して旋律形を重視した近代的な様式をとり、より強い表現力をもっている。

1. ラルゴ・エ・スタッカート フランス風序曲の附点リズムのみられる莊重な響きをもった序奏部である。
2. アレグロ 前楽章に連続して、自由奔放なフーガ主題の展開は、複雑な綾をなす。
3. ラルゴ 冒頭での大胆な転調と下降音型は、短いが極めて印象的なものとなっている。
4. ピバーチェ 三連音符と附点音符のリズムの対照は躍動的な生氣を生み、独奏部と合奏部の規則的な交替により曲の終りへ進行してゆく。

ナショナル電子オルガンテクニトーン使用

消化器系鎮痙・鎮痛剤 上腹部痛に…制酸剤の効果持続に…

## ダイピン錠

一般名：Nメチルスコボラミン・メチル硫酸塩 認別番号D106

(適応) 次の疾患時の痙攣性疼痛にご使用ください。

胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍

(用法) 通常成人1回2錠、1日3~4回経口投与します。

(用量) 年齢、症状により適宜増減します。

(薬価) 1mg錠(PTP100錠・PTP1,000錠)・22円00

使用上の注意は製品添付の説明書をご参考ください。

●胃運動抑制作用、胃液分泌抑制作用を有します。  
●制酸剤の制酸効果を持続させます。  
●胃壁からも吸収されます。  
●胃粘膜への特異作用が認められています。

第一製薬の消化器系薬剤

胃腸機能改善剤……………アクチナミン  
消化性潰瘍治療剤……………グルミロンB錠  
消化酵素剤……………ホルミラーゼ  
消化性潰瘍治療剤…グルタミン顆粒「第一」

第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

# 札幌医科大学室内楽合奏団

顧問 安斎哲郎（市立室蘭総合病院院長）

団長 福田守道（癌研内科助教授）

指揮 佐々木治（学2）

コンサートマスター 松本敏明（学3）

## ●ヴァイオリン

上田典子（医大分院）

松本敏明（学3）

小谷俊一（第1内科）

高橋正一（進2）

福田守道（癌内助教授）

広瀬崇興（進2）

林ゆき子（第1外科）

楳本深（学3）

小林英三郎（先輩）

太田博昭（進2）

平松和彦（賛助出演）

田中寛（賛助出演）

## ●ギター

坂本伸雄（学2）

## ●通奏低音

横山靖子（進1）

## ●クラリネット

池田由弘（進1）

## ●ファゴット

神部謙二（賛助出演）

## ●オーボエ

山下裕二（賛助出演）

## ●ホルン

久本和夫（進1）

佐々木治（学2）

## ●ヴィオラ

加藤福子（中央検査部）

兼古悟（学4）

勝谷友一（賛助出演）

総務 佐々木治（学2）

庶務 久本和夫（進1）

会計 広瀬崇興（進1）

楽譜 横山靖子（進1）

楽器 池田由弘（進1）

涉外 太田博昭（進2）

## ●チエロ

田村久（学1）

名取博（癌研内科）

横田寛（賛助出演）

## ●コントラバス

笹川康二（賛助出演）

各種医療器械は歴史と信用を誇る

当社に是非おまかせください!!

営業品目－医科器械全般・理化学器械・医用電子・病院設備・計量器

株式  
会社

ムトウ

代表取締役

武藤竜吉

本社／札幌市北区北11条西4丁目 ☎ 741-5111(代)

支店・営業所／函館・旭川・釧路・室蘭・帯広・東京

総合建設業

株式  
会社

地崎工業

代表取締役 地崎宇三郎